

2023年度 七北田中第1学年だより

道標

2023.6.27 No6

文責 千坂 朋広

「集団でいることがプラスになる集団」を創ろう

下記の詩を知っているだろうか。中学校の先生だった著者が、1967年に書いたものだそうだ。長年に渡り、大切な視点を投げかけてくれているものだ。実際に、先生が小学校の時には、担任の先生が、手書きで書いた大きな詩を、教室の天井に貼っていたことを覚えている。

さて、最近の学年・学級の様子を見てみると、下記の詩を紹介したくなるような現状が垣間見られる。具体的に言えば、「そんなことも分からないの？」という旨の言動で、「自分は分かっている」という前提で、他者を見下した感が含ま

れている。

ちょっと立ち止まって考えてほしい。人は皆、大人も含めて、分からないことや知らないことがある。むしろ、それの方が多いのではないか。そう考えると、「そんなことも分からないの？」という旨の言動は、「分からないことを分かりたい」、「知らないことを知りたい」という意欲や学びの機会を阻害している。そればかりか、自分にだって分からないことがあることに目がいかないことで、自分が分からないときに手を差し伸べてもらえなくなることに気づかない。もしも、教室がそんな空間になってしまったら、集団で共に生活し、学習することのメリットは、誰も受けられない。

学校は、皆の可能性を広げる場所だ。将来、どんな職業に就き、どんな資格や技術が必要か、誰も分からない。今、将来の夢があったとしても、そうなるかも分からない。好きなことや得意なこと、やってみたいことがこれから見つかるかもしれない。しかし、皆は必ず、様々な人生の分岐点で、自分で選択して判断して決定していく。だから学校は、その時の可能性が狭まらないように、様々な教科を広く浅く学習し、行事等を行う。そうした場所は提供されているが、創っていくのは、先生達も含めてそこにいる人たちであると肝に銘じてほしい。

詩「教室はまちがうところだ」

蒔田 晋時(まきた しんじ)

教室はまちがうところだ みんなとしし手を上げて まちがった意見を 言おうじゃないか
まちがった答えを 言おうじゃないか まちがうことをおそれちゃいけない まちがったものをフラっちゃいけない
まちがった意見を まちがった答えを ああじゃあないか こうじゃあないかと
みんなで出しあい 言い合うなかで ほんどのものを見つけていくのだ
そしてみんなで伸びていくのだ
いつも正しくまちがいのない 答えをしなくちゃならんと思って そいうとこたと思っているから
まちがうことがこわくてこわくて 手も上げないで小さくなって 黙りこくって時間がすぎる
しかたがないから先生だけが 勝手にしやべって生徒はうわのそら
それじゃあちっとも伸びてはいけない
神様でさえまちがう世のなか ましてこれから人間になろうと している僕らがまちがったって なにがおかしい あたりまえじゃないか
うつむきうつむき そうつ上げた手 はじめて上げた手 先生がさした どきりと胸が大きく鳴って どぎどきと体が燃えて
立ったとたんに忘れてしまった なんだかぼそぼそしゃべったけれども なにを言ったかちんぷんかんぷん 私はこどりと座ってしまった
体がすうつと涼しくなって ああ言やあよかった こう言やあよかった あとでいいこと浮かんでくるのに
それでいいのだ いくどもいくども おんなじことをくりかえすうちに それからだんだんどきりがやんで 言いたいことが言えてくるのだ
はじめからうまいこと言えるはずないんだ はじめから答えが当たるはずないんだ
なんどもなんども言ってるうちに まちがううちに 言いたいことの半分くらいは どうやらこうやら言えてくるのだ
そしてたまには答えも当たる
まちがいでだらけの僕らの教室 おそれちゃいけないフラっちゃいけない 安心して手を上げる 安心してまがえや
まちがったってフラったり ばかにしたりおこったり そんなものはおりゃあせん
まちがったって誰かがよ なのしてくるし教えてくれる 困ったときには先生が ない知恵ぼって教えるで
そんな教室作ろうやあ
おまえへんたと言われたって あんたちがうと言われたって そう思うのだからしょうがない
だれかがかりにもフラったら まちがうことがなぜわるい
まちがってることわかればよ 人が言おうが言うまいが おらあ自分であらためる
わからなけりゃあそのかわり 誰が言おうとこずこうと おらあ根性曲げねえだ
そんな教室作ろうやあ



7月の行事予定

日	曜	学校・学年予定等	授業予定	給食
1	土			
2	日			
3	月	安全点検日	1・2・3・4・5・学	○
4	火	BS	1・2・3・4・5・6	○
5	水	金曜の授業	金の1・2・3・4・5・総	○
6	木	職場体験検討委員会	1・2・3・4・道・総	○
7	金	水曜の授業 合唱中間発表会	中間・水の1・2・3・4	○
8	土			
9	日			
10	月		1・2・3・4・5・学	○
11	火	校務部会①	1・2・3・4・5・6	○
12	水		1・2・3・4・5・6	○
13	木		1・2・3・4・道・総	○
14	金	合唱コンクール(川内萩ホール) 部活なし 給食なしで弁当持参	合唱→現地集合・解散	弁当
15	土			
16	日			
17	月			
18	火		1・2・3・4・5・6	○
19	水		1・2・3・4・5・6	○
20	木	全校集会 県中総体・吹奏楽コンクール激励会	1・2・3・4・総	○
21	金	教育相談① 夏季休業日(～8/25)		
22	土	部活なし 県中総体		
23	日	部活なし 県中総体		
24	月	教育相談② 県中総体		
25	火	教育相談③ 県中総体		
26	水	教育相談④ 教育課程研究協議会		
27	木	教育相談⑤		
28	金	教育相談⑥		
29	土	部活なし		
30	日	部活なし		
31	月	教育相談⑦		